



～寄り添い、学び、教訓を備えに～

なになに ずまいるず 復興支援シンポジウム

平成26年 6月16日 17時～

入場無料
先着 250名

大阪市立大学 医学部学舎4階 大講義室

いつか必ず起こる大震災。日本中、どこで起こったとしても、その時私たちには何ができるでしょうか。

本シンポジウムでは、東日本大震災後、大槌町で調査活動を続けてこられた原口先生、大槌町で医療支援にあられた山本先生、大槌町の保健師として活躍され現在も復興に尽力されておられる鈴木先生にご講演を賜ります。この日、医療支援を通じてご縁を頂いた大槌町の皆様、子ども達・・・被災された方々へと思いを馳せながら、これまでに私たちが学んだことを振り返り、新たな学びと来たるべき日への備え、そして望ましい未来へと想いをつなげていきたいと考えております。

震災研究、復興支援、災害医療に興味のある方は、どなたでもお越しください。

～プログラム予定～

開会の辞	大阪市立大学医学部・医学研究科長 なにわすまいるず代表 荒川哲男先生
ご挨拶	大阪市立大学医学部・附属病院長 石河修先生
なにわすまいるず活動紹介	
講演① 「東日本大震災に学び西日本大震災に備える」	大阪市立大学大学院・理学研究科・地球学科・准教授 原口強先生
講演② 「災害医療と当院の医療支援」	大阪市立大学大学院・医学研究科・救急医学・准教授 山本啓雅先生
大槌町奨学生からの手紙紹介	
特別講演	岩手看護短期大学・地域看護学専攻・教授 鈴木り子先生

なにわすまいるずについて

東日本大震災直後、大阪市大病院から岩手県大槌町へ医療チームが派遣されました。それとともに、市大医学部教職員有志によるボランティア「なにわすまいるず」が結成され、義捐金や物資を集め被災地に送りました。現在、募金活動を継続し、その義捐金を岩手県大槌町の中高校生に奨学金として贈呈しています。平成25年度から大阪市立大学医学部学生もメンバーに加わり、街頭募金・大槌町訪問などの活動をしています。

共催：大阪市立大学医学部教職員学生・復興支援ボランティアグループ「なにわすまいるず」

大阪市立大学医学部、大阪市立大学医学部医師会

交流会 (会費制)

時間：同日20時～

場所：大阪市立大学附属病院6階
レストラン パティオ

交流会からの参加も大歓迎です！

2013年12月の大槌町の様子 (兪撮影)



お問い合わせ

大阪市立大学医学部学務課 (吉田)

e-mail : i-gakumu@med.osaka-cu.ac.jp